

令和7年度

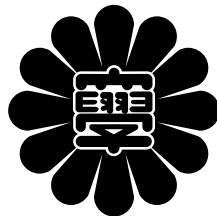
学生募集要項

学校推薦型選抜

総合型選抜

一般選抜

社会人選抜



羽陽学園短期大学
幼児教育科

羽陽学園短期大学の「建学の精神」

「敬、実、和」

敬とは、目上の方々を敬い、自分の行いを慎ましくすること。

実とは、偽りがなく正直なこと、そして、実力をつけること、何事も真心をもって実行すること。

和とは、穏やかな和らいだ心で人に接し、仲良くすること。

本学幼児教育科の目的

本学幼児教育科は、保育・幼児教育および福祉の分野の専門的な知識や理論、技術を教授するとともに、実習を通して実践力を養い、将来、保育・幼児教育および福祉の専門家として貢献できる人材を養成することを目的とする。

本学は、この目的にそって、次のような方針の下で、幼児教育および社会福祉に関する職業に従事する能力のある人材を社会に送り出そうとしています。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

以下のような能力を身につけ必要単位を修得した学生に対し、卒業を認定し、学位を授与する。

- (1) 理論と技術を学び、専門職としての自覚および技術を持つ。
- (2) 専門性を持った職業人として社会で活躍でき、自己の向上と自己実現および生涯学習の足がかりを作ることができる。

卒業までに、このような能力を身につけてもらうために、以下のような方針の下でカリキュラムを編成しています。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

幼児教育および介護福祉に関する体系的な学修のために、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成し、教育を実施する。

- (1) 基礎から応用へと発展するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する専門知識と技能を段階的に修得できる教育を実施する。
- (2) 実習を通して理論と実践のつながりを理解するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する実践力を養う教育を実施する。
- (3) 学生と教員の対話を重視し、学生個人の特性や持ち味を生かした教育を実施する。

これら本学のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを理解し、幼児教育・保育・福祉の専門家を目指して学修する意欲のある人の入学を求めます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

内省的で専門性が高い人材の養成のために、次のような資質を持った者が入学してくることを期待している。

- （1）知的好奇心が強く、学業の修得に熱心であり、自分を育てる意欲が強い者。
- （2）社会事象、特に幼児教育および介護福祉への関心が高く、将来それらの職業を希望している者。
- （3）自分の意見や考えを適切に伝えられる者。

入学者選抜の基本方針

本学幼児教育科では、アドミッション・ポリシーにかなう学生を受け入れるために、「学校推薦型選抜」・「総合型選抜」・「一般選抜」の三つの区分により入学者を選抜します。また、入学者の多様性を確保する観点から「社会人選抜」の区分も設けます。

入学者選抜は、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」という学力の三つの要素を評価の観点として、学力検査のほか、調査書・志望理由書・推薦書・受験理由書（社会人）などの書類、口頭試問、面接といった多面的・総合的な方法を用いて実施します。

区分ごとの、評価の観点と選抜方法の関係は次の表に示すとおりです。

入試区分ごとの選抜方法の内容と評価の観点

| 選抜方法 | 内容と評価の観点 | 学校推薦型選抜 | | 総合型選抜 | 一般選抜 | | 社会人選抜 | |
|-------------------------|--|---------|----|-------|------|----|-------|----|
| | | 指定校 | 一般 | | 一期 | 二期 | 一期 | 二期 |
| 調査書 | 入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する観点から、高等学校または中等教育学校等の学習成績の状況および他の記載事項も有効に活用し、評価します。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 推薦書 | 本人の学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を評価します。 | ○ | ○ | | | | | |
| 志望理由書 (社会人選抜では受験理由書) | 幼児教育および福祉を志し、本学での学修を志望する理由について文章を記述してもらいます。 幼児教育および福祉への関心の高さ、自分を育てる意欲の強さ、本学における学修への意識や姿勢が適格なものであるか(「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」)、自分の意思を的確に表現できるか(「思考力・判断力・表現力等」)を評価します。 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| 自己紹介文 | これまでの自分の活動等について文章をまとめてもらいます。時間は20分です。的確に文章を構成できるか(「知識・技能」)、自分の長所を的確に表現できるか(「思考力・判断力・表現力等」)を評価します。 | | | ○ | | | | |
| 口頭試問 | 複数の担当者による個人試問の形式で、高校までに学んだ幼児教育および福祉に関する基礎的な知識について質問します。時間は約10分です。 本学の修学に必要な基礎的・基本的な「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」を評価します。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 国語 | 『国語』は「現代の国語」および「言語文化」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章(論理的な文章、実用的な文章、文学的な文章)を扱います。長文の文章を読み、それについての設問に解答してもらいます。時間は60分です。 文脈に沿った読み取り、漢字の読み書きや同音異義語の区別を正しく行えるか(「知識・技能」)、読み取ったことをもとに、表現や文脈を吟味して設問に関する考えを記述によりまとめ、的確に表現できるか(「思考力・判断力・表現力等」)を評価します。 『国語』の出題内容は、新教育課程による出題科目とこれに対する旧教育課程の科目との共通の内容を出題します。 | | | | ○ | | | |
| 小論文 | 長文の文章を読み、それについて要旨をまとめたり自分の考えを述べたりしてもらいます。時間は90分です。(注:社会人選抜は60分です。) 適切な言葉、表記のルールを用いて文章構成ができるか(「知識・技能」)、自分の考えを的確に立論し表現できるか(「思考力・判断力・表現力等」)を評価します。 | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 面接 | 複数の担当者による個人面接の形式で、幼児教育および福祉、社会問題に対する関心、将来への展望、向学心等について質問します。時間は約10分です。(注:社会人選抜は30分です。) 質問の意味を理解し、自分の考えを的確に表現できるか(「思考力・判断力・表現力等」)、幼児教育および福祉への関心の高さ、学業修得の熱心さ、知的好奇心の強さ、自分を育てる意欲の強さ、本学における学修への意識や姿勢が適格なものであるか(「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」)を評価します。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

学校推薦型選抜

高等学校または中等教育学校の校長の推薦に基づき、調査書を主な資料としつつ、志望理由書・面接・口頭試問などを利用して評価・判定します。

1 募集人員

54名 ※P13の共通事項をご確認ください。

2 出願要件

学校推薦型選抜（指定校）

本学の学校推薦型選抜（指定校）に志願できる者は、下記(1)～(3)のすべてに該当する者としてします。

- (1) 本学指定の高等学校または中等教育学校に在籍し、令和7年3月卒業見込みの者。
- (2) 下記の要件を満たすと高等学校または中等教育学校の校長が認め推薦した者。
 - ①学業成績および生活態度が特に良好な者。
 - ②幼児教育者または福祉従事者としての適性があると認められる者。
- (3) 本学のアドミッション・ポリシーを深く理解し、本学を専願とする者。

学校推薦型選抜（一般）

本学の学校推薦型選抜（一般）に志願できる者は、下記(1)もしくは(2)に該当し、かつ(3)、(4)の両方に該当する者としてします。

- (1) 高等学校または中等教育学校に在籍し、令和7年3月卒業見込みの者。
- (2) 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を令和7年3月に卒業または修了見込みの者。
- (3) 下記の要件を満たすと高等学校または中等教育学校等の校長が認め推薦した者。
 - ①学業成績（全体の学習成績の状況3.0以上）および生活態度が良好な者。
 - ②幼児教育者または福祉従事者としての適性があると認められる者。
- (4) 本学のアドミッション・ポリシーを深く理解し、本学を第一希望とする者。

3 出願手続

(1) 出願書類

| | |
|-------|---|
| 入学願書 | 本学所定の用紙に自筆し、写真（縦 4.0cm×横 3.0cm）を貼付してください。 ・指定校の願書は、指定された学校に送付しています。 ・一般の願書は、学生募集要項に添付しています。 |
| 調査書 | 高等学校または中等教育学校所定の用紙を使用し、当該学校で作成したもの（開封無効）。 |
| 推薦書 | 本学所定の用紙を使用し、高等学校または中等教育学校で作成したもの（開封無効）。 推薦書記入上の注意事項等について ・本人の長所だけでなく、入学志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」に関する評価についても必ず記載してください。 ・その際、生徒の努力を要する点等についても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記載してください。推薦書は本学ホームページからもダウンロードできます。 |
| 志望理由書 | 本学所定の用紙を使用し、自筆したもの。志望理由書は本学ホームページからもダウンロードできます。 |

(2) 入学検定料

30,000円

(3) 出願期間

令和6年11月1日（金）～令和6年11月15日（金） 12時 必着

(4) 出願方法

下記①、②のいずれかの方法で、入学検定料を添えて出願書類を提出してください。

①直接提出 本学事務室に提出してください。入学検定料は現金も可とします。

願書受付は、土曜・日曜、国民の休日を除き、9:00～17:00までとします。

②郵送 定型の返信用封筒（志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、所定の郵便料金の切手を貼付してください。）も同封し、本学入試係宛に郵送してください。入学検定料は郵便局で普通為替にし、為替証書を提出してください。為替証書の指定受取人等の欄には一切記入しないでください。

4 選抜方法の配点基準

学校推薦型選抜（指定校）

| 書類審査（調査書、推薦書、志望理由書） | 口頭試問 | 面接 | 合計 |
|---------------------|------|----|-----|
| 70 | 15 | 15 | 100 |

学校推薦型選抜（一般）

| 書類審査（調査書、推薦書、志望理由書） | 口頭試問 | 面接 | 合計 |
|---------------------|------|----|-----|
| 55 | 30 | 15 | 100 |

5 試験期日

学校推薦型選抜（指定校） 令和6年11月24日（日） 9時30分開始

学校推薦型選抜（一般） 令和6年11月23日（土） 9時30分開始

6 合格発表

学校推薦型選抜（指定校） 令和6年12月2日（月） 14時

合格発表は、本学正面玄関前への掲示および本学ホームページへの掲載で行います。

学校推薦型選抜（一般） 令和6年12月2日（月） 14時

合格発表は、本学正面玄関前への掲示および本学ホームページへの掲載で行います。

7 入学前教育

合格者を対象に、入学前教育（プレキャンパス）を実施します。全員参加となります。

高校での学習と本学入学後の学びを確実なものにするために、大学入学までの学習、大学入学後の学びについての講義、演習を行い、学習計画を立てて課題に取り組んでもらいます。

実施期日 令和6年12月14日（土） 実施場所 本学

総合型選抜

志望理由書や自己紹介文などの書類をもとに、進路について相談をした上で、口頭試問や面接を利用して、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を確認しながら、総合的に評価・判定します。

1 募集人員

10名 ※P13の共通事項をご確認ください。

2 出願要件

本学の総合型選抜に志願できる者は、下記(1)、(2)、(3)いずれかの条件を満たし、かつ(4)、(5)の両方に該当する者としてします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、または令和7年3月卒業見込みの者。
- (2) 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を卒業、修了した者、または令和7年3月に卒業、修了見込みの者。
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第150条の規定による）。
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者。
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者。
 - エ 文部科学大臣が指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）。
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）および令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者。
- (4) 本学のアドミッション・ポリシーを深く理解し、本学での学修に強い意志をもつ者。
- (5) 本学を専願とする者。

3 出願手続

■ステップ1 エントリー書類配布

エントリーに必要な書類（エントリーシート、志望理由書）の配布期間は、次のとおりです。入手を希望する場合は、本学入試係にお問い合わせください。

お問い合わせは、土曜・日曜、国民の休日、お盆期間（8/10～8/18）を除き、9：00～17：00までとします。

| | |
|-----------|----------------------------|
| 総合型選抜（Ⅰ期） | 令和6年6月23日（日）～令和6年7月12日（金） |
| 総合型選抜（Ⅱ期） | 令和6年8月4日（日）～令和6年8月30日（金） |
| 総合型選抜（Ⅲ期） | 令和6年12月2日（月）～令和6年12月26日（木） |

■ステップ2 エントリー（総合型選抜の申し込み）

エントリーシート、志望理由書を本学入試係に提出してください。直接提出、郵送いずれでも可能です。

提出期間は、次のとおりです。

直接提出の場合は、土曜・日曜、国民の休日を除き、9:00～17:00までとします。

| | | | |
|-----------|----------------------------|-----|----|
| 総合型選抜（Ⅰ期） | 令和6年7月1日（月）～令和6年7月12日（金） | 12時 | 必着 |
| 総合型選抜（Ⅱ期） | 令和6年8月19日（月）～令和6年8月30日（金） | 12時 | 必着 |
| 総合型選抜（Ⅲ期） | 令和6年12月9日（月）～令和6年12月26日（木） | 12時 | 必着 |

■ステップ3 総合型選抜進路相談

自己紹介文記述を課すとともに、本学のアドミッション・ポリシーに該当する点等について進路相談（約30分）を行います。また、パフォーマンスを希望する場合はエントリーシートにその概要を書いてください。

| | | |
|-----------|--------------|---------|
| 総合型選抜（Ⅰ期） | 令和6年7月20日（土） | 9時30分開始 |
| 総合型選抜（Ⅱ期） | 令和6年9月7日（土） | 9時30分開始 |
| 総合型選抜（Ⅲ期） | 令和7年1月11日（土） | 9時30分開始 |

■ステップ4 エントリー登録通知

志望理由書、自己紹介文、進路相談により、エントリー登録可とされた者にはその旨を通知します。

| | |
|-----------|--------------|
| 総合型選抜（Ⅰ期） | 令和6年7月29日（月） |
| 総合型選抜（Ⅱ期） | 令和6年9月13日（金） |
| 総合型選抜（Ⅲ期） | 令和7年1月15日（水） |

■ステップ5 出願

エントリー登録可とされ出願をする者は、出願方法①、②のいずれかの方法で、入学検定料を添えて出願書類を提出してください。

(1) 出願書類

| | |
|------|---|
| 入学願書 | 本学所定の用紙に自筆し、写真（縦4.0cm×横3.0cm）を貼付してください。 |
| 調査書 | 高等学校または中等教育学校所定の用紙を使用し、当該学校で作成したもの（開封無効）。 |

(2) 入学検定料

30,000円

(3) 出願期間

| | | | |
|-----------|---------------------------|-----|----|
| 総合型選抜（Ⅰ期） | 令和6年9月2日（月）～令和6年9月13日（金） | 12時 | 必着 |
| 総合型選抜（Ⅱ期） | 令和6年9月24日（火）～令和6年10月4日（金） | 12時 | 必着 |
| 総合型選抜（Ⅲ期） | 令和7年1月16日（木）～令和7年1月24日（金） | 12時 | 必着 |

(4) 出願方法

下記①、②のいずれかの方法で、入学検定料を添えて出願書類を提出してください。

- ①直接提出 本学事務室に提出してください。入学検定料は現金も可とします。
願書受付は、土曜・日曜、国民の休日を除き、9:00~17:00までとします。
- ②郵送 定型の返信用封筒（志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、所定の郵便料金の切手を貼付してください。）も同封し、本学入試係宛に郵送してください。入学検定料は郵便局で普通為替にし、為替証書を提出してください。為替証書の指定受取人等の欄には一切記入しないでください。

■ステップ6 口頭試問・最終面接

口頭試問および入学後の学修に対する意欲、計画等についての面接を行います。

総合型選抜（Ⅰ期・Ⅱ期） 令和6年10月12日（土） 9時30分開始

総合型選抜（Ⅲ期） 令和7年2月1日（土） 9時30分開始

4 選抜方法の配点基準

| 書類審査（調査書・志望理由書・自己紹介文） | 口頭試問 | 面接 | 合計 |
|-----------------------|------|----|-----|
| 40 | 20 | 40 | 100 |

5 合格発表

総合型選抜（Ⅰ期・Ⅱ期） 令和6年11月1日（金） 14時
合格発表は、本学正面玄関前への掲示および本学ホームページへの掲載で行います。

総合型選抜（Ⅲ期） 令和7年2月6日（木） 14時
合格発表は、本学正面玄関前への掲示および本学ホームページへの掲載で行います。

6 入学前教育

総合型選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）合格者を対象に、入学前教育（プレキャンパス）を実施します。全員参加となります。

高校での学習と本学入学後の学びを確実なものにするために、大学入学までの学習、大学入学後の学びについての講義・演習を行い、学習計画を立てて課題に取り組んでもらいます。

実施期日 令和6年12月14日（土） 実施場所 本学

一 般 選 抜

学力検査（国語）、小論文等を主な資料とし、調査書、口頭試問や面接などによって、入学志願者の能力・意欲・適性等を評価・判定します。

1 募集人員

4名 ※P13の共通事項をご確認ください。

2 出願要件

本学の一般選抜に志願できる者は、下記(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ(4)に該当する者とします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、または令和7年3月卒業見込みの者。
- (2) 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を卒業、修了した者、または令和7年3月に卒業、修了見込みの者。
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第150条の規定による）。
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者。
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者。
 - エ 文部科学大臣が指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）。
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）および令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者。
- (4) 本学のアドミッション・ポリシーを深く理解する者。

3 出願手続

(1) 出願書類

| | |
|-------|---|
| 入学願書 | 本学所定の用紙に自筆し、写真（縦 4.0cm×横 3.0cm）を貼付してください。 |
| 調査書 | 高等学校または中等教育学校を卒業した者については、当該学校所定の用紙を使用し、当該学校で作成したもの（開封無効）。なお、卒業後の調査書が得られない場合には、卒業証明書または成績証明書を提出してください。出願要件(3)の高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者については、高等学校卒業程度認定試験合格証明書と成績証明書（旧規程による「大学入学資格検定試験」に合格した者も同様）、またはこれらに準ずる証明書を提出してください。 |
| 健康診断書 | 令和7年3月卒業見込みの者は不要（ただし、本学が必要と認めたときには、提出をお願いする場合があります）。既に高等学校や中等教育学校等を卒業している者および出願要件(3)の該当者は、視力、聴力、結核およびその他の疾病・異常等について、医師が3か月以内に作成した診断書を提出してください。 |

(2) 入学検定料

30,000円

(3) 出願期間

第一期一般選抜 令和7年1月6日(月)～令和7年1月24日(金) 12時 必着

第二期一般選抜 令和7年3月3日(月)～令和7年3月10日(月) 12時 必着

(4) 出願方法

下記①、②のいずれかの方法で、入学検定料を添えて出願書類を提出してください。

①直接提出 本学事務室に提出してください。入学検定料は現金も可とします。

願書受付は、土曜・日曜、国民の休日を除き、9:00～17:00までとします。

②郵送 定型の返信用封筒(志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、所定の郵便料金の切手を貼付してください。)も同封し、本学入試係宛に郵送してください。入学検定料は郵便局で普通為替にし、為替証書を提出してください。為替証書の指定受取人等の欄には一切記入しないでください。

4 選抜方法の配点基準

第一期一般選抜

| 調査書・成績証明書等 | 口頭試問 | 国語 | 面接 | 合計 |
|------------|------|----|----|-----|
| 25 | 30 | 30 | 15 | 100 |

第二期一般選抜

| 調査書・成績証明書等 | 小論文 | 面接 | 合計 |
|------------|-----|----|-----|
| 25 | 60 | 15 | 100 |

5 試験期日

第一期一般選抜 令和7年2月1日(土) 9時30分開始

第二期一般選抜 令和7年3月17日(月) 9時30分開始

6 合格発表

第一期一般選抜 令和7年2月6日(木) 14時

合格発表は、本学正面玄関前への掲示および本学ホームページへの掲載で行います。

第二期一般選抜 令和7年3月19日(水) 14時

合格発表は、本学正面玄関前への掲示および本学ホームページへの掲載で行います。

社会人選抜

社会人を対象として、小論文、受験理由書、面接によって、入学志願者の能力・意欲・適性等を評価・判定します。

1 募集人員

2名 ※P13共通事項をご確認ください。

2 出願要件

本学の社会人選抜に志願できる者は、下記(1)、(2)、(3)のいずれかに該当し、かつ(4)、(5)に該当する者となります。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者。
- (2) 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を卒業、修了した者。
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第150条の規定による）。
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
 - エ 文部科学大臣が指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）。
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）。
- (4) 社会人としての経験（非正規職従事、ボランティア、アルバイト、家事従事等を含む）を2年以上有する者。
- (5) 本学のアドミッション・ポリシーを深く理解する者。

3 出願手続

(1) 出願書類

| | |
|-------|--|
| 入学願書 | 本学所定の用紙に自筆し、写真（縦 4.0cm×横 3.0cm）を貼付してください。 |
| 調査書 | 高等学校または中等教育学校を卒業した者については、当該学校所定の用紙を使用し、当該学校で作成したもの（開封無効）。なお、卒業後の調査書が得られない場合には、卒業証明書または成績証明書を提出してください。また、「高等学校卒業程度認定試験」に合格した者（旧規程による「大学入学資格検定試験」に合格した者を含む）は、その合格証明書と成績証明書を提出してください。 |
| 自己紹介書 | 本学所定の用紙に自筆してください。自己紹介書は本学ホームページからもダウンロードできます。 |
| 受験理由書 | 本学所定の用紙に自筆してください。受験理由書は本学ホームページからもダウンロードできます。 |
| 健康診断書 | 視力、聴力、結核およびその他の疾病・異常等について、医師が3か月以内に作成した診断書を提出してください。 |

自己紹介書、受験理由書の入手を希望する場合は、本学入試係にお問い合わせください。

(2) 入学検定料

30,000円

(3) 出願期間

第一期社会人選抜 令和7年1月6日（月）～令和7年1月24日（金） 12時 必着

第二期社会人選抜 令和7年3月3日（月）～令和7年3月10日（月） 12時 必着

(4) 出願方法

下記①、②のいずれかの方法で、入学検定料を添えて出願書類を提出してください。

①直接提出 本学事務室に提出してください。入学検定料は現金も可とします。

願書受付は、土曜・日曜、国民の休日を除き、9：00～17：00までとします。

②郵送 定型の返信用封筒（志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、所定の郵便料金の切手を貼付してください。）も同封し、本学入試係宛に郵送してください。入学検定料は郵便局で普通為替にし、為替証書を提出してください。為替証書の指定受取人等の欄には一切記入しないでください。

4 選抜方法の配点基準

| 調査書（成績証明書等）・受験理由書 | 小論文 | 面接 | 合計 |
|-------------------|-----|----|-----|
| 20 | 50 | 30 | 100 |

5 試験期日

第一期社会人選抜 令和7年2月1日（土） 9時30分開始

第二期社会人選抜 令和7年3月17日（月） 9時30分開始

6 合格発表

第一期社会人選抜 令和7年2月6日（木） 14時

合格発表は、本学正面玄関前への掲示および本学ホームページへの掲載で行います。

第二期社会人選抜 令和7年3月19日（水） 14時

合格発表は、本学正面玄関前への掲示および本学ホームページへの掲載で行います。

共 通 事 項

募集人員に関する注意事項

※現在、定員の変更を申請中です。記載されている募集人員数は全て申請中の数になります。正式に決定の際は、短大ホームページを通じて連絡いたしますので、そちらをご確認ください。

試験に関わる注意事項

1. 受験生で、ウイルスに感染して、試験日までに医師が治癒したと診断していない時、当日受験はできませんので、直ちに本学へ連絡してください。また、試験日当日に、発熱等、体調が不調で受験できない場合にも、直ちに本学へ連絡してください。いずれの場合にも、本学より追試験日程等を指示します。後日、医師の診断書の提出をお願いします。なお、第二期一般選抜および第二期社会人選抜では追試験を予定しておりません。
2. 障がい等のため、受験上および就学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に本学入試係にお問い合わせください。なお、お問い合わせは出願締切日の2週間前までに行ってください。
※上記期間後の申し出については特別な配慮等の対応ができなくなりますのでご注意ください。
3. 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。
 - (1) 出願書類において、故意に虚偽の記入・記載（本人以外の顔写真画像を添付することなど）をすること。
 - (2) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - (3) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - (4) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (5) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - (6) 面接室に受験票以外のものを持ちこむこと。
 - (7) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
4. 試験当日は、受験票、筆記用具、上履き、昼食等を持参してください。

《口頭試問》のテーマについて

羽陽学園短期大学では、学校推薦型選抜（指定校・一般）・総合型選抜（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）・一般選抜（Ⅰ期）の試験科目として口頭試問を課しています。口頭試問では、高校生が、幼児教育や福祉について一般的に調べられる内容のものを、どの程度、知識として把握し、適切にまとめて、他者に分かりやすく表現できるかを測る試験科目です。

令和7年度は、下記のテーマの中から出題しますので、事前に複数、学習して試験に臨んでください。
「愛着関係」「子育て支援」「自立生活支援」「ノーマライゼーション」「食育」

入学手続

入学手続の詳細は、入学手続要項（合格通知とともに送付します）を参照してください。

1. 入学手続締切日

| 学校推薦型選抜 | | 総合型選抜 | | 一般選抜 | | 社会人選抜 | |
|-------------------------|----|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 指定 | 一般 | I 期 | II 期 | 第一期 | 第二期 | 第一期 | 第二期 |
| 令和 6 年 12月20日 (金) | | 令和 6 年 12月20日 (金) | 令和 7 年 2 月21日 (金) | 令和 7 年 2 月21日 (金) | 令和 7 年 3 月27日 (木) | 令和 7 年 2 月21日 (金) | 令和 7 年 3 月27日 (木) |

2. 諸納金（令和 6 年度入学生納入額）

| 入学料 (入学時) | 授業料 (前期分) | 施設費 (前期分) | 維持費 (前期分) | 実験実習料 (前期分) |
|--------------|---------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 280,000円 | 301,300円 (年間 602,500円) | 63,000円 (年間126,000円) | 84,000円 (年間 168,000円) | 36,750円 (年間 73,500円) |

納入した諸納金は、原則として返却しません。

ただし、一般選抜合格者または社会人選抜合格者のなかで、他の大学に入学する者には、令和 7 年 3 月中に入学辞退届（様式は特に定めません。当該大学の合格通知書の写しを添付してください。）を提出すれば、諸納金から入学料を除いた金額を返却します。

奨学金制度

奨学金制度には、以下のようなものがあります。

1. 羽陽学園奨学金

一定の家計・学力基準を満たす学生を対象とした、無利子の貸与型奨学金です。

2. 高等教育の修学支援制度

住民税非課税およびそれに準ずる世帯・多子世帯の学生を対象として、授業料等減免および給付型奨学金の支給を行う制度です。

3. 日本学生支援機構奨学金 第一種・第二種

一定の家計・学力基準を満たす学生を対象とした、貸与型奨学金です。第一種は無利子奨学金、第二種は有利子奨学金です。

4. 保育士修学資金貸付制度（山形県）等

卒業後山形県内で保育業務に従事しようとするなど、一定の条件を満たす学生を対象として、資金を無利子で貸与する制度です。一定の事由に該当する場合は、資金の全部または一部の返還が免除されることがあります。

個人情報の取り扱い

出願者の個人情報は、「学校法人羽陽学園個人情報保護方針」に基づき、受験以外には使用しません。

《備考》

1. 出願後に予期できない事由により家計が急変した場合には、ご相談ください。
2. 高等教育の修学支援新制度対象者（給付型奨学金採用者）の方、または諸事情で授業料等諸納金の納入についてご相談がある方は、延納、分割制度が利用できますのでご連絡ください。
3. 本学、または本学園が設置する山形調理師専門学校に同一家庭より兄弟姉妹で同時に入学・在学する場合、入学金、授業料が減額となります。
4. 自宅通学が困難な学生のために委託寮を紹介します。
5. 今後のウイルス感染状況等によっては、学生募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあり得ます。選抜方法の変更が生じた場合には、本学ホームページでお知らせします。

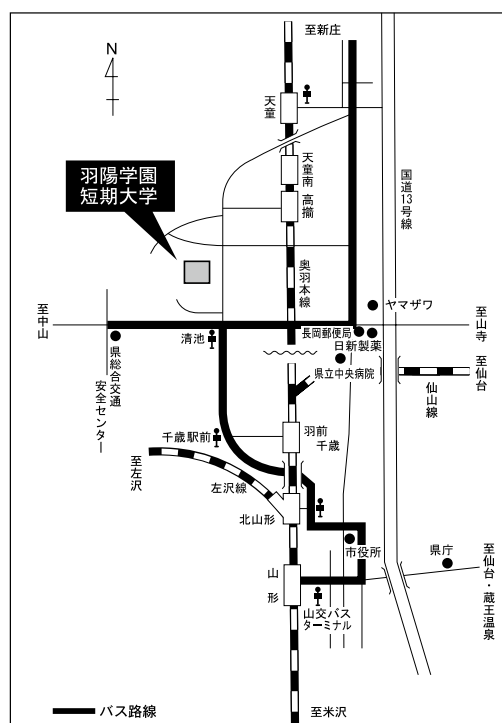
試験会場

入試は、すべて本学校舎で実施します。

本学へのアクセス

【JR利用】 奥羽本線高橋^{たかたま}駅下車、徒歩約7分

【バス利用】 山交バス停留所「清池」^{しょうげ}下車、徒歩5分



入試に関するお問い合わせ先 羽陽学園短期大学 入試係

〒994-0065 山形県天童市大字清池1559

TEL (023) 655-2385 (代)

FAX (023) 655-2844

URL <https://www.uyo.ac.jp>

E-mail kyoumu@uyo.ac.jp